

コースNo.

31

資金繰りを向上させる会計実務講座

図解と事例で理解する資金繰り

- 研修期間 / 2024年11月6日(水)～11月8日(金)
- 研修日数・時間 / 3日間 (21時間)
- 募集定員 / 25名 ● 受講料 / 32,000円(税込)

対象者

経営幹部、管理者

- ・資金管理の仕方を学びたい方
- ・財務の視点から経営判断力を高めたい方
- ・財務面での金融機関が見るポイントを学びたい方

研修のねらい

企業の経営基盤を強化し、安定的に事業を継続するためには、資金の流れを理解することが重要です。また、資金繰り予想には、税制の基礎知識が不可欠です。

本研修では、持続的成長を目指すため、企業経営における資金の重要性、収益との関係について学びます。また、設備投資や資金繰りの考え方、資金繰り表の作成方法について演習を交えながら学びます。

研修の特徴

- ◎企業経営における収益と資金の関係、金融機関が着目するポイントについて学びます。
- ◎様々な事例から資金の流れを把握し、資金繰り、資金構造について考えます。
- ◎演習を通じて資金繰り表を作成し、資金の側面から経営改善策について検討します。

カリキュラム概要 ※カリキュラムは、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

月/日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
11/6 (水)	10:20～10:30	開講式 オリエンテーション		
	10:30～12:30	会計・財務管理の重要性	企業経営において適切な経営判断を行うために、必要となる会計・財務論点を学びます。 ◆企業経営と資金構造 ◆利益と資金の関係 ◆企業における資金の流れ ◆金融機関との交渉のポイント	長尾公認会計士事務所 代表 公認会計士 長尾 義敦
	13:30～18:30	財務管理の基本的な考え方	経営における財務管理の重要性について、資金管理と収益性との関係について学び、円滑な資金の流れをつくるために必要な知識を習得します。 ◆運転資金の影響 ◆税金(法人税・消費税)の基礎と資金繰りへの影響	
	18:45～20:15	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
11/7 (木)	9:00～12:30	設備資金と資金調達	売上の変化や設備購入における利益・資金計画の考え方と注意点について、事例と演習を交えながら理解します。 ◆運転資金の影響(固定資産取得の収支予測) ◆設備投資計画の基礎 ◆資金調達、優遇税制、補助金利用の例 ◆成長性と安全性を両立させる設備投資・経営戦略のポイント	
	13:30～18:00			
11/8 (金)	9:00～12:30	事業継続のための資金管理・資金繰り	資金繰りの考え方、資金繰り表の作成について、様々な事例を通じて学ぶとともに、ケース教材で資金繰り表作成から課題の抽出、改善策検討を行います。 ◆手詰まりを防ぐ資金繰りのポイント ◆資金繰り表の作成方法 ◆資金繰り表の見方・改善への活かし方 ◆補助金を活用する場合の設備資金計画と資金繰り表	長尾 義敦 (前掲) 佐藤 義仁 (前掲)
	13:30～16:00			
	16:00～16:20	終講式		

講師紹介



長尾 義敦 (ながお よしあつ)

長尾公認会計士事務所 代表 公認会計士

2002年公認会計士試験合格後、朝日監査法人(現 あずさ監査法人)に12年勤務し、2014年長尾公認会計士事務所として独立。

<主な業務内容・実績>

事業再生・経営改善計画策定支援

M&A支援、事業承継支援

研修講師(経営者研修、支援機関研修)



佐藤 義仁 (さとう よしひと)

佐藤義仁公認会計士事務所 代表 公認会計士

1992年公認会計士試験合格後、朝日新和会計社(現 あずさ監査法人)に29年間勤務し、2021年 佐藤義仁公認会計士事務所として独立。

<主な業務内容・実績>

法定監査

M&A支援、リストラクチャリング、内部統

制高度化コンサル、コンプライアンス体

制強化、内部監査コンサル

研修講師(支援機関研修)